



2023年5月12日

各位

会社名 信和株式会社
代表者名 代表取締役社長 則武 栗夫
コード番号：3447
(東証スタンダード市場・名証プレミアム市場)
問合せ先 執行役員管理本部長 平澤 光良
(TEL. 0584-66-4436)

個別業績の前期実績との差異に関するお知らせ

2023年3月期の個別業績（日本基準）につきまして、前期（2022年3月期）実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 2023年3月期個別業績（日本基準）と前期実績の差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績値（A） （2022年3月期）	百万円 15,920	百万円 1,669	百万円 1,651	百万円 1,004	円 72.84
当期実績値（B） （2023年3月期）	14,127	1,016	993	506	36.43
増減額（B－A）	△1,792	△652	△658	△497	
増減率（％）	△11.3	△39.1	△39.8	△49.6	

2. 理由

当社の主力部門である仮設資材においては、建設工事事業の底堅さを背景に、主力製品であるくさび緊結式足場及び次世代足場の需要は継続しているものの、当社製品を含む建築資材の高騰状況が継続していることなどから、仮設資材を購入ではなくレンタルで調達する志向が強まりました。その結果、販売価格の改定は実現した一方で、販売物量に減少がみられました。

また、2022年9月28日に開示いたしました当社元従業員による不適切行為を重く受け止め、社内体制の見直しを通じ再発防止策の推進及びコンプライアンス体制の立て直し、顧客の信頼回復に努めてまいりました。その過程において、対象拠点の営業・管理体制を刷新し、業務運営全体の是正を図る活動を重視したものの、当該拠点における売上高が減少しました。

物流機器部門においては、各種産業における生産活動の活発化、物流量の増大に支えられ、売上高は堅調に推移しましたが、仮設資材部門の減収分をカバーするには至らず、その結果、売上高は前期の実績を下回る結果となりました。

利益面におきましては、売上高の減少及び原材料価格高騰の影響を受け前期の実績を下回る結果となりました。

以上